

〔記入注意〕 この実務経歴書は勤務先（自営業を含む）ごとに作成し、今までの建築に関する実務の経歴について受験に必要な業務の内容を年代順に記入してください。なお、記載内容の記入不備や疑義が生じた場合、再提出や追加書類の提出を求める場合があります。また、虚偽の実務経歴を記載した場合、合格の取消し又は受験の禁止の処分を受ける場合があります。

私は、二級建築士試験又は木造建築士試験を受験したいので、建築実務の経歴を下記のとおり記載し、併せて第三者が当該書類の内容が事実と相違ないことを確認したことを証する実務経歴証明書を提出します。

私は、下記事項が真実で、かつ正確であることを誓います。

令和 年 月 日

氏名

公益財団法人 建築技術教育普及センター理事長 殿

現在の勤務先	勤務先（部課名まで）		勤務先所在地（番地まで）		勤務先電話番号			
					() -			
学歴	学校名	学部名	学科・専攻名		昼夜間の別	修業年限	在学期間	卒業・中退の別
	中学校					3年制	S・H 年 月から S・H 年 月まで	卒業
			科 学科	専攻 コース	昼・夜	年制	S・H・R 年 月から S・H・R 年 月まで	卒業(修了) 中退
			科 学科	専攻 コース	昼・夜	年制	S・H・R 年 月から S・H・R 年 月まで	卒業(修了) 中退
建築実務を経験した勤務先等		(/)		実務経歴の勤務先ごとに用紙を分けて記入して下さい。				
建築実務を経験した勤務先（部課名まで）		所在地（番地まで）		在職期間の合計				
				年月～年月		年月数		
				S H R	年 月 ~	S H R	年 月	
在職期間（新しい順に記入）		地位職名	建築実務の内容（建築士法施行規則第一条の二）					
年月～年月	年月数							
S H R	年 月 ~	S H R	年 月	年 月				
S H R	年 月 ~	S H R	年 月	年 月				
S H R	年 月 ~	S H R	年 月	年 月				
建築実務の詳細 （申請する実務を新しい順に記入）				建築実務経験期間の合計				
				年 月				
(1)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間					
			年月～年月	建築実務の割合	年月数			
			S H R	年 月 ~	S H R	年 月	%	年 月
実務経験の対象となる業務の内容（できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等）								
(2)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間					
			年月～年月	建築実務の割合	年月数			
			S H R	年 月 ~	S H R	年 月	%	年 月
実務経験の対象となる業務の内容（できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等）								

(3)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			S H R 年 月 ～ S H R 年 月	%	年 月
実務経験の対象となる業務の内容（できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等）					
(4)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			S H R 年 月 ～ S H R 年 月	%	年 月
実務経験の対象となる業務の内容（できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等）					
(5)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			S H R 年 月 ～ S H R 年 月	%	年 月
実務経験の対象となる業務の内容（できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等）					
(6)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			S H R 年 月 ～ S H R 年 月	%	年 月
実務経験の対象となる業務の内容（できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等）					
(7)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			S H R 年 月 ～ S H R 年 月	%	年 月
実務経験の対象となる業務の内容（できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等）					
(8)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			S H R 年 月 ～ S H R 年 月	%	年 月
実務経験の対象となる業務の内容（できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等）					

《備考》

1 この「実務経歴書」は、勤務先ごとに記入して下さい。勤務先が2箇所以上になる場合は、コピーをして使用して下さい。また、センターのホームページからダウンロードすることもできます。

2 過去の「受験票」又は「合否通知書」を添付して受験申込する場合は、「実務経歴書」「実務経歴証明書」の提出を省略できることがあります。